

【再評価】

番号	事業区分	事業名	事業概要	事業採択年度	事業費 〔億円〕 上:全体 下:R2末まで (進捗率)	前回評価年度	再評価 該当要件	事業進捗等の大きな変更の有無 (※1)				対応方針 (原案)	備考
								有	A	B			
										1	2		
1	河川	斐伊川総合水系環境整備事業	斐伊川水系は、その源を島根県仁多郡奥出雲町の船通山に発し、宍道湖、大橋川、中海、境水道を経て日本海に注ぐ幹川流路延長153km、流域面積2,540km <sup>2</sup> の一級河川である。 本事業は、地域との合意形成を図りながら、斐伊川水系の水環境改善を保全・再生するとともに、安全・安心な水辺利用に配慮した整備を行うものである。	H16	193 (80%)	R1	再評価を実施する必要が生じた事業	有	■			継続	重点
2	道路	一般国道9号 三隅・益田道路	一般国道9号は、京都市から下関市までを結ぶ延長約730kmの主要幹線道路である。 三隅・益田道路は島根県浜田市三隅町と益田市遠田町を結ぶ延長15.2kmの自動車専用道路である。 事業目的は、緊急輸送道路の確保、第三次救急医療機関へのアクセス向上、広域観光ルートの形成を図ることである。	H24	860 (50%)	H28再	再評価を実施する必要が生じた事業	有		■	■	継続	重点
3	道路	一般国道491号 俵山・豊田道路	一般国道491号は、山口県下関市から山口県長門市までを結ぶ延長約50kmの主要幹線道路である。 俵山・豊田道路は、山口県下関市豊田町八道と長門市俵山小原を結び山陰自動車道の一部を構成する延長13.9kmの道路である。 事業目的は、要防災対策箇所、異常気象時通行規制区間を回避し、緊急時の代替路線の確保や、観光・救急医療活動の支援、生活圏域間の連携促進である。	H28	630 (12%)	H27新規	再評価を実施する必要が生じた事業	有		■	■	継続	重点
4	港湾	鳥取港千代地区防波堤整備事業	鳥取港は「賀露の港」として古くから知られ、現在では、砂・石材等の建設資材の流通拠点として発展している。また、鳥取・賀露みなどオアシスにも認証され地域の交流・憩いの場としても発展している。 本事業は、鳥取港における所要の港内静穏度を確保することで、年間をじた荷役作業の効率化・安全性の向上を図るとともに、荒天時における航行船舶の避泊水域の確保及び漂砂による航路埋塞を抑制するため防波堤等の整備を行うものである。	S52	442 (90%)	H27再	再評価を実施する必要が生じた事業	有			■	継続	重点

(※1)【事業進捗等に大きな変更がある事業】となる選定要因(判定フローに該当のチェック)

- A: 事業を巡る社会経済情勢等の変化がある。
- B: 前回評価からの事業費・事業期間の増加が10%超である。
  - 1: 事業費の増加が10%超
  - 2: 事業期間の増加が10%超

【事後評価】

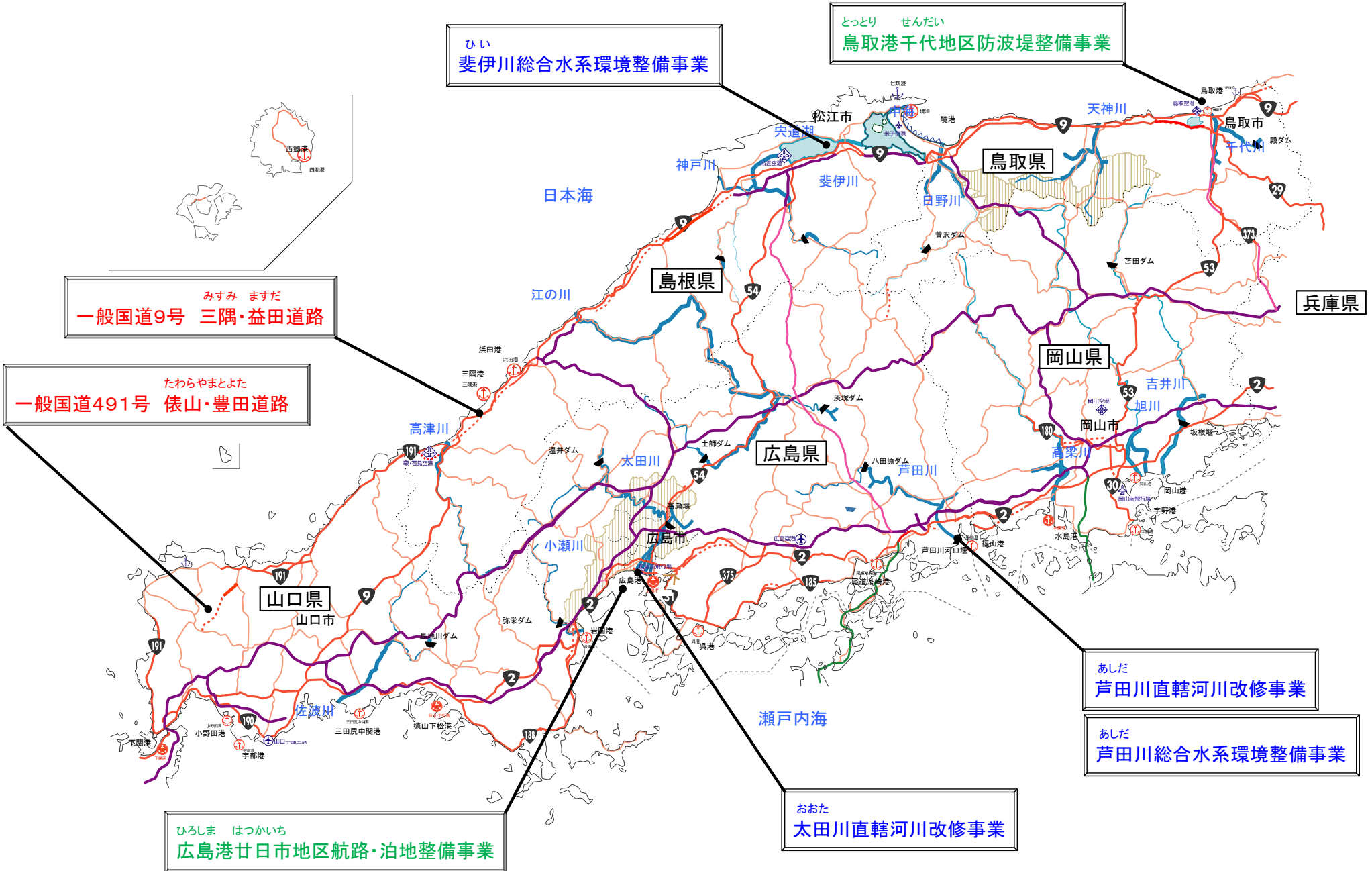
番号	事業区分	事業名	事業概要	事業採択年度	事業完了年度	事業費 〔億円〕	備考
1	港湾	広島港廿日市地区航路・泊地整備事業	広島港廿日市地区は、広島港における輸入貨物の半数以上を占めるLNG(液化天然ガス)を取扱い、LNGの一大輸入拠点となっている。 本事業はLNGの安定的かつ安価な供給を実現するため、廿日市地区において、航路・泊地(水深12m)の整備を行うものである。	H23	H27	73	

【報告(河川法に基づき、河川整備計画変更に係る審議を行った事業)】

番号	事業区分	事業名	事業概要	前回評価年度	策定年度	変更年度 上:今回 下:前回	現計画 開始年度	現計画 終了年度	事業費 〔億円〕 上:全体 下:R2末まで (進捗率)	備考
1	河川	太田川直轄河川改修事業	太田川では、平成17年9月洪水、平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨等で、甚大な被害が発生している。 本事業は太田川流域における治水安全度の向上を目的に、堤防整備、水門改築等を実施するものである。	H29再	H23	R2 H23	R3	R32	553 0%	
2	河川	芦田川直轄河川改修事業	芦田川では、昭和20年9月洪水(枕崎台風)、平成10年10月洪水、平成30年7月豪雨等で甚大な被害が発生している。 本事業は芦田川流域における治水安全度の向上を目的に、河道掘削等を実施するものである。	H29再	H20	R2 H20	R3	R32	208 0%	R2.10.13「第3回芦田川水系河川整備アドバイザー会議」
3	河川	芦田川総合水系環境整備事業	芦田川は、広島県三原市大和町蔵宗を源に発し、世羅台地を貫流し府中市を経て高屋川等を合わせ、神辺平野を流下し瀬戸内備後灘に注ぐ一級河川である。 本事業は、地域との合意形成を図りながら、芦田川の水環境改善や自然環境を保全・再生するとともに、安全・安心な水辺利用に配慮した整備を行うものである。	H29再	H20	R2 H20	H22※	R6	27.8 97%	R2.10.13「第3回芦田川水系河川整備アドバイザー会議」

※芦田川総合水系環境整備事業は、平成11年より芦田川河口堰ダム環境整備事業として開始し、平成22年より現事業として実施している。

# 令和2年度 第3回 中国地方整備局事業評価監視委員会 対象事業位置図



ひい  
斐伊川総合水系環境整備事業

とっとり せんだい  
鳥取港千代地区防波堤整備事業

みすみ まただ  
一般国道9号 三隅・益田道路

たわらやまとよた  
一般国道491号 俵山・豊田道路

ひろしま はつかいち  
広島港廿日市地区航路・泊地整備事業

おおた  
太田川直轄河川改修事業

あした  
芦田川直轄河川改修事業

あした  
芦田川総合水系環境整備事業